

## 新潟地区ローカル線に新型車両。省エネ・エコに期待！

JR東日本では、2019年度中に、新潟地区の磐越西線や米坂線などで、電気式気動車「GV-E400系」を導入する予定です。

この車両は、ディーゼルエンジンで発電し、モーターで走行するので、従来のディーゼルカーとくらべて、省エネ・エコに期待できるでしょう。

現在、試験運転等を繰り返し、デビューに向け準備を行っています。

新しく快適な車両に乗って、早く旅に出たいですね！



## 「Eco列車でいこう！」～第110回～ 二度目の尾瀨！

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです！)



7月22日(日)。昨年に続いて尾瀨を訪れた。福島県桧枝岐村の「御池」駐車場で車中泊し、翌朝5時の「沼山峠」行きシャトルバスに乗る。

標高1700mの沼山峠から40分も歩けば、「大江湿原」の絶景が広がる。咲き誇るニッコウキスゲやワタスゲ、東北最高峰「燧ヶ岳」の雄姿、「尾瀨沼」のきらめき、シャツを吹き抜けるさわやかな風。ぜいたくな朝だ。

尾瀨沼北岸に行く。尾瀨には環境保護のため全長60kmにも及ぶ木道が整備されており、とても歩きやすい。突然、小動物が横切った。オコジョだろうか。風の音と鳥の声、自然の音しか聞こえない。

尾瀨沼のはずれ「沼尻」で休憩。ポイルでお湯を沸かして、みそ汁とおにぎりの朝食。山小屋の売店でクレープを購入し、燧ヶ岳を見ながら、少しのんびりした。

沼尻から「尾瀨ヶ原」方面へ向かう。尾瀨ヶ原は尾瀨沼よりも標高が200m程度低い。岩場の多い道を行き、峠を越えて「見晴」に到着。

尾瀨ヶ原東端に位置する見晴には6軒もの山小屋があり、食堂やお土産物屋がそろっている。食材や商品を運んでくるのが歩荷(ぼっか)さんで、一度に80kgもの荷物を担いでくるという。

見晴という名前の通り、尾瀨ヶ原方面の眺望がすばらしい。正面には、日本百名山の「至仏山」がどっしりと構え、一面に大湿原が広がる。

「ヨッピー橋はどちらでしょうか？」女性2人組に声をかけられた。地図をみながら、少し話をしてみると、横浜からのツアーで鳩待峠(群馬県)から入山したとのこと。尾瀨国立公園は群馬、福島、新潟、栃木にまたがっている。

赤田代で2人組と分かれ、段吉新道から燧裏林道へ。沼山峠から7時間以上歩き続けてさすがに疲れてきたが、「田代」と呼ばれる尾瀨特有の小規模湿原が連続し、目を楽しませてくれた。

13時過ぎ、約20kmのトレッキングを終えて御池駐車場に到着した。

まもなく秋が訪れ「草紅葉」の季節となる。尾瀨は何度訪れても飽きない場所である。

